

## クリーン農業技術開発の成果一覧

化学肥料の使用量を減らすための技術

開発技術

施肥法の改善

- 8 上川・留萌地方の基肥窒素量設定を目的とした水稻成長モデルの開発（H6年）
- 11 水稻の減化学肥料の実態解析（H6年）
- 12 畑作物の減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 13 露地野菜における減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 14 施設野菜における減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 31 ハウストマトの窒素施肥法及び内部品質変動要因（H6年）
- 33 道央たまねぎ栽培における減化学肥料の実証（H8年）
- 37 パソコンによる土壌診断・施肥設計システム（H8年）
- 44 堅密固結性土壌に対する有材心土改良耕法の確立（H9年）
- 48 ごぼうの生育特性と施肥管理（H9年）
- 53 北海道における被覆緩効性肥料の窒素溶出特性と露地・施設野菜栽培への利用（H10年）
- 55 土壌特性に基づくスイートコーンの窒素施肥法改善（H10年）
- 58 窒素3割減肥を目的としたキャベツの施肥法改善（H11年）
- 74 塩類非集積型肥料を用いた施設野菜の施肥法改善（H13年）
- 81 被覆窒素肥料を用いたながいもマルチ栽培の安定生産技術（H14年）
- 89 施設栽培における下層土診断に基づく窒素施肥改善（H15年）
- 99 窒素栄養診断に基づく夏秋どりトマトの養液土耕栽培技術（H16年）
- 135 ハウス栽培におけるらの窒素施肥法改善（H18年）
- 136 カリフラワーの肥培管理・病害虫防除の指針（H18年）
- 137 セルリーの肥培管理・病害虫防除の実態と改善方向（H18年）
- 138 かぶの肥培管理及び病害虫防除の指針（H18年）
- 144 水稻のYES！clean栽培高度化に向けた技術体系（H18年）
- 145 ぼかし肥料を用いたばれいしょの減化学肥料栽培（H18年）
- 152 小型反射式光度計を用いた土壌硝酸態窒素の簡易測定法（H19年）
- 178 たまねぎ畑の減肥・後作緑肥導入による窒素負荷低減対策の実証（H20年）
- 186 みずな直播・小株栽培の栽培体系（H21年）
- 199 セルリーのチューブかん水栽培における減化学農薬栽培技術と土壌診断に基づく施肥対応（H21年）
- 200 チンゲンサイの肥培管理・病害虫防除の指針（H21年）
- 209 北海道耕地土壌の理化学性の実態・変化とその対応（1959～2007年）（H22年）
- 211 キャベツに対する肥効調節型肥料の利用法（H22年）
- 212 化学合成緩効性肥料「ウレアホルム」の窒素供給特性とブロッコリーおよびたまねぎにおける施用法（H22年）
- 213 移植たまねぎにおける肥効調節型肥料を用いたポット内施肥法（H22年）
- 227 みずな移植・中株栽培の窒素施肥基準（H23年）
- 228 土壌還元消毒後のトマト栽培における施肥指針（H23年）
- 237 土壌くん蒸消毒および蒸気消毒後の窒素減肥指針（H24年）
- 242 秋まき小麦及び後作緑肥導入による粘質たまねぎ畑の下層土改善と経済性評価（H25年）
- 243 ハウス野菜類における土壌熱水抽出性窒素に基づく窒素施肥の適正化（H25年）
- 245 北海道耕地土壌の理化学性の実態・変化とその対応（1959～2011年）および炭素貯留量（H26年）
- 247 露地夏秋どりねぎにおけるチェーンポット内施肥による窒素・リン酸減肥栽培技術（H26年）
- 251 牧草を飼料基盤とする酪農場における施肥改善技術導入効果の実証（H26年）
- 253 短節間かぼちゃに対する肥効調節型肥料の施用技術（H26年）
- 269 すいかの秋マルチ栽培における作型に応じた窒素施肥法（H27年）
- 272 移植たまねぎ安定生産のための窒素分施肥技術（H28年）
- 276 春夏まきレタスの品種特性および窒素施肥技術と食感評価法の開発（H29年）
- 285 セル成型苗施肥によるブロッコリーのリン酸減肥技術（H30年）
- 295 球肥大改善に向けた直播たまねぎの窒素分施肥法（R2年）
- 296 播種後の気象推移に対応した飼料用とうもろこしの窒素分施肥対応（R2年）
- 299 土壌熱水抽出性窒素に基づくトマトの追肥技術（R3年）

- 302 可視光・近赤外光センサーを用いたトマトの非破壊窒素栄養診断法（R4年）
- 303 無加温半促成作型メロンの窒素栄養診断法（R4年）
- ・ 野菜畑土壌（ハウレンソウ、トマト、ハクサイ）の肥沃度に対応した施肥法（S58年）
  - ・ ハウス抑制キュウリの窒素施肥法（S58年）
  - ・ 水稲に対する粒状化成の側条施肥効果（S59年）
  - ・ 寒地ハウスの土壌管理指標（S61年）
  - ・ 初期生育不良礫質水田の要因と側条施肥効果（S62年）
  - ・ 水稲に対する二段施肥法（側条、条間施肥の組合せ）（H2年）
  - ・ 水田土壌の窒素診断基準とこれに基づく施肥対応（H2年）
  - ・ 熱水抽出性窒素によるてん菜及び馬鈴しょ畑の土壌窒素診断（H2年）
  - ・ 岩宇地域におけるスイカの窒素施肥法（H2年）
  - ・ 土壌窒素供給量の評価による草地の効率的窒素施肥管理（H3年）
  - ・ ダイコンに対するペースト肥料の施用技術と施肥機の開発（H3年）
  - ・ 水田の窒素動態モデルによる追肥の要否判定（H4年）
  - ・ ナガイモ栽培における窒素施肥法の改善（H4年）
  - ・ 泥炭土の保肥力改善で減化学肥料（H7年）
  - ・ 草地に対する適正なふん尿還元量の設定（H10年）
  - ・ 畑作物に対するたい肥の連用限界量の設定と減肥対応法（H10年）
  - ・ 畑作物に対する牛ふん尿スラリーの施用効果と施用法（H10年）
  - ・ 露地野菜の年間作付け数に対応したたい肥施用限界量（H10年）
  - ・ ハウス夏秋どりトマトの窒素栄養診断法（H13年）

化学肥料の使用量を減らすための技術

開発技術

施用有機物の評価技術

- 9 小豆の収量・品質に対する各種有機物施用の影響（H6年）
- 16 木炭粉の農業資材としての特性（H6年）
- 17 北海道緑肥作物等栽培利用指針（H6年）
- 24 有機物（魚・大豆・なたね粕、米糠）の窒素無機化特性と水稲に対する化学肥料代替性（H8年）
- 36 有機物及び土壌窒素放出量予測に基づく露地野菜に対する窒素施肥量の算出（H8年）
- 41 すいかの窒素吸収特性に基づく有機質肥料の肥効評価（H8年）
- 80 ほうれんそうの品質に及ぼす発酵鶏ふんの効果と施用方針（H14年）
- 91 施設栽培におけるたい肥連用効果と窒素・リン酸減肥基準（H15年）
- 92 露地野菜に対する有機物肥料重点の窒素施用指針（H15年）
- 102 発芽シートを用いた生ごみコンポストの簡易植害判別法（H16年）
- 103 豚糞堆肥・牛糞堆肥の作物および土壌への亜鉛・銅供給効果（H16年）
- 127 道内発酵鶏糞の特性と水稲に対する施用効果（H17年）
- 141 露地野菜における有機物重点利用栽培導入のための圃場適性区分（H18年）
- 142 各種有機質資材を用いた露地野菜の無化学肥料栽培（H18年）
- 148 水稲に対する石灰系下水汚泥コンポストの施用効果（H19年）
- 153 有機物等の窒素評価に基づくてんさいの窒素施肥対応（H19年）
- 164 有機質資材を用いたメロンの無化学肥料栽培技術（H20年）
- 187 石灰系水産副産物由来肥料の特性および施用法（H21年）
- 223 水稲栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H23年）
- 224 ばれいしょ栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H23年）
- 225 たまねぎ栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H23年）
- 226 にんじん栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H23年）
- 229 トマトの化学合成農薬・化学肥料5割削減栽培の実証（H23年）
- 236 秋まき小麦栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H24年）
- 241 有機物の肥効評価と局所施肥を活用した畑作物・野菜に対するリン酸減肥指針（H25年）
- 246 水稲減化学肥料栽培における有機質肥料の早期施肥技術（H26年）
- 249 十勝地域の酪農場における堆肥舎整備後の家畜ふん堆肥等の特性と飼料用とうもろこしに対する肥効評価（H26年）

- 252 水田転換ハウスにおける土壌養分適正化のための堆肥施用指針（H26年）
- 273 早春まき施肥野菜収穫後の土壌残存および残渣由来窒素推定による施肥対応（H28年）
- 277 堆肥の施用時期と混和方法が畑作物の生育・収量に及ぼす影響（H29年）
- 278 水稲栽培における施用有機物のリン酸肥効評価（H29年）
- 279 ブロッコリー栽培における化学合成農薬・化学肥料削減技術の高度化（H29年）
- 280 施設栽培ほうれんそうにおける化学合成農薬・化学肥料5割削減栽培技術と作型別評価（H29年）
- 284 トンネル早熟・露地マルチスイートコーンにおける化学肥料5割削減栽培技術（H30年）
  - ・ 堆きゅう肥施用によるとうもろこしの生産性向上に関する試験（S59年）
  - ・ 石灰系下水汚泥コンポストの特性と農地施用（S61年）
  - ・ 稲わら連用が土壌窒素肥沃度に与える影響とその対策（S62年）
  - ・ 畑土壌における麦稈の分解過程に及ぼす各種緑肥の影響（S63年）
  - ・ 十勝畑作地帯における長期有機物連用の効果（S63年）
  - ・ 高分子系下水汚泥コンポストの特性と農地施用（H4年）
  - ・ 透水性のよい褐色低地土における有機物の長期連用効果（H5年）
  - ・ たい肥、スラリー、尿の養分含量推定法効率の設定（H10年）

化学肥料の使用量を減らすための技術

生態系を活用した技術

土壌生物特性・活性化技術の開発

- 19 異なる輪作体系における畑作物の収量反応並びに土壌微生物特性の変動（H7年）
- 35 畑土壌における微生物（ $\alpha$ -グルコシダーゼ活性）の実態と標準値の設定（H8年）
- 101 粘質野菜畑土壌における微生物活性（ $\alpha$ -グルコシダーゼ活性）に基づいた土壌管理指針（H16年）
- 210 ダイズのリン酸吸収に対するVA菌根菌宿主作物の前作効果（H22年）
- 248 大豆作付け圃場におけるアーバスキュラー菌根菌の感染実態と前作を考慮したリン酸減肥指針（H26年）
- 250 飼料用とうもろこし連作畑におけるリン酸施肥対応（H26年）
  - ・ エダマメ(大豆)に対するアゾスピリラム菌の接種効果の解明（H13年）
  - ・ 輪作におけるアーバスキュラー菌根菌の動態と畑作物への前作効果（H13年）

農薬の使用量を減らすための技術

開発技術

減農薬栽培の実態調査

- 7 水稲の減農薬の実態解析（H6年）
- 12 畑作物の減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 13 露地野菜における減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 14 施設野菜における減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 76 ニンジン乾腐病の発生生態解明（H13年）
- 100 こまつなの品種特性とクリーン栽培事例（H16年）
- 147 軟白みつばの栽培技術（H19年）

農薬の使用量を減らすための技術

開発技術

効率的防除法の開発

- 3 たまねぎのネギアザミウマ防除効率化試験（H6年）
- 38 たまねぎの白斑葉枯病の防除効率化試験（H6年）
- 49 大豆わい化病の防除体系（H9年）
- 75 野菜病害虫発生予測システム利用による防除技術の体系化（H13年）
- 87 ダイズのジャガイモヒゲナガアブラムシ有翅虫の飛来予測（H15年）
- 106 おうとうの幼果菌核病および灰星病の効率的防除法（H16年）
- 107 ねぎの減農薬防除法（H16年）

- 117 テンサイ黒根病の防除対策（H17年）
- 118 ながいもの催芽処理期間における青かび病対策（H17年）
- 136 カリフラワーの肥培管理・病害虫防除の指針（H18年）
- 137 セルリーの肥培管理・病害虫防除の実態と改善方向（H18年）
- 138 かぶの肥培管理及び病害虫防除の指針（H18年）
- 144 水稻のYES！clean栽培高度化に向けた技術体系（H18年）
- 155 デオキシニバレノール汚染に対応した春まき小麦の赤かび病に対する薬剤防除対策（H19年）
- 156 秋まき小麦におけるデオキシニバレノール(DON)汚染低減のための効率的な赤かび病防除方法（H19年）
- 170 水稻のアカヒゲホソミドリカスミカメに対する水面施用粒剤の残効特性と施用時期（H20年）
- 173 アスパラガス立茎栽培における病害虫管理技術（H20年）
- 191 各種病害虫に対するドリフト低減ノズルの防除効果（H21年）
- 192 北海道におけるメロン果実汚斑細菌病の発生生態と防除対策（H21年）
- 195 てんさいのアシグロハモグリバエ防除対策（H21年）
- 197 ネギ葉枯病の発生生態と総合防除対策（H21年）
- 199 セルリーのチューブかん水栽培における減化学農薬栽培技術と土壌診断に基づく施肥対応（H21年）
- 200 チンゲンサイの肥培管理・病害虫防除の指針（H21年）
- 201 Y字二頭ロドリフト低減ノズルによる農薬飛散低減及び防除効果（H21年）
- 217 岩宇地域におけるすいか・メロンの新害虫の発生実態（H22年）
- 223 水稻栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H23年）
- 224 ばれいしょ栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H23年）
- 225 たまねぎ栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H23年）
- 229 トマトの化学合成農薬・化学肥料5割削減栽培の実証（H23年）
- 231 大豆栽培における化学農薬半減技術（H23年）
- 236 秋まき小麦栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化（H24年）
- 240 なら病害の発生実態・診断方法と白斑葉枯病の防除対策（H24年）
- 254 小豆栽培における化学農薬半減技術（H26年）
- 255 特別栽培のためのかぼちゃ病害虫の防除体系（H26年）
- 258 小麦の雪腐褐色小粒菌核病および褐色雪腐病に対する殺菌剤の残効性と防除時期（H26年）
- 259 小麦の雪腐黒色小粒菌核病と雪腐大粒菌核病に対する殺菌剤の残効性と防除時期（H26年）
- 260 特別栽培のためのばれいしょ疫病の防除体系（H26年）
- 261 斑点米カメムシの基幹防除期における効率的防除技術（H27年）
- 263 特別栽培のためのキャベツ病害虫の防除体系（H27年）
- 264 たまねぎのべと病に対する防除対策（H27年）
- 265 薬剤抵抗性ネギアザミウマの発生実態と防除対策（H27年）
- 266 スイカ炭疽病の防除対策（H27年）
- 267 イネドロオイムシ薬剤感受性低下の実態解明と防除対策（H27年）
- 274 たまねぎの灰色腐敗病に対する多発回避のための効率的防除対策（H28年）
- 275 施設栽培ほうれんそうにおけるハウレンソウケナガコナダニの生態を利用した被害軽減対策（H28年）
- 281 ミニトマトの斑点病・葉かび病・すすかび病の発生実態と防除対策（H29年）
- 286 水稻の直播栽培におけるイネドロオイムシを主体とした初期害虫の効率的防除法（H30年）
- 287 YES!clean栽培に対応できるスイートコーン害虫防除法（H30年）
- 288 特別栽培のためのだいこん病害虫の防除体系（H30年）
- 289 たまねぎの小菌核病に対する効率的防除対策（H30年）
- 291 大豆子実を加害するカメムシ類およびマメシクイガの同時防除方法（H31年）
- 301 ブロッコリー黒すす病の効率的防除対策（R3年）
- 307 ジアミド系薬剤感受性低下個体群に対応したキャベツにおけるコナガの防除対策（R5年）
  - ・ シュミレーションモデルを使ったヒメトビウンカの最適防除法の推定（H5年）
  - ・ てん菜褐斑病抵抗性“強”品種を利用した減農薬防除法（H13年）



2 カメムシの水田内での発生予測システムと防除の検討（H6年）

- 4 キャベツの食葉性害虫の新食害痕を指標とした要防除水準（H6年）
- 6 施設果菜類に発生したサツマイモネコブセンチュウの防除対策（H6年）
- 26 水稲の減農薬栽培のための病虫害防除技術（H8年）
- 50 大豆の食葉性鱗翅目幼虫の被害許容水準の設定（H9年）
- 57 水田雑草の発生予測法と予測に基づいた除草方法（H11年）
- 62 てん菜のテンサイモグリハナバエと小麦のムギクロハモグリバエの被害解析（H11年）
- 190 アカヒゲホソミドリカスミカメの性フェロモントラップを用いた斑点米の要防除水準（H21年）
- 257 水稲の割れ籾歩合ランク‘少’～‘やや少’品種に対する斑点米カメムシの要防除水準（H26年）
- 271 大豆栽培における雑草発生量の推定に基づいた除草体系（H27年）
- 286 水稲の直播栽培におけるイネドロオイムシを主体とした初期害虫の効率的防除法（H30年）
  - ・ イネドロオイムシ要防除水準の策定（S59年）
  - ・ アブラムシ類による小麦の被害と被害許容水準の策定（S62年）
  - ・ イネドロオイムシの簡便な防除要否判定法（H10年）
  - ・ 「ほしのゆめ」における斑点米カメムシの要防除水準（H13年）
  - ・ 秋まき小麦の赤さび病の被害許容水準と効果的薬剤防除（H13年）

農薬の使用量を減らすための技術

開発技術

簡易モニタリングシステムの開発

- 29 ばれいしょの疫病に対する減農薬防除技術（H8年）
- 42 てんさいの主要病害虫に対するモニタリング手法の開発（H8年）
- 56 てん菜のヨトウガに対するモニタリング手法の開発－第2世代を中心として－（H10年）
- 61 水稲害虫の防除要否判定のための発生モニタリング法－イネミズゾウムシ、アカヒゲホソミドリメクラガメ－（H11年）
- 63 コナガの発生予測システムの開発－春まきキャベツを中心として－（H11年）
- 105 水稲のいもち病とフタオビコヤガに対する発生対応型防除法（H16年）
- 109 テンサイ褐斑病のモニタリング開始時期の決定法（H16年）
- 172 たまねぎのネギアザミウマと白斑葉枯病に対する簡易モニタリングによる発生対応型防除法（H20年）
- 194 ジャガイモシストセンチュウの簡易検出・密度推定が可能なプラスチックカップ土壌検診法（H21年）
  - ・ シミュレーションモデルを使ったヒメトビウンカの発生予測（H4年）
  - ・ アメダスを利用したジャガイモ疫病の発生予察システム（H7年）

農薬の使用量を減らすための技術

農薬代替技術

化学合成農薬以外による防除技術

- 5 酸性水溶液の散布による野菜類細菌病の防除（H6年）
- 23 キャベツのコナガに対するBT水和剤の効果（H7年）
- 72 アイガモの利用による水田除草の総合技術（H12年）
- 78 水田害虫発生予察用新資材の開発（H13年）
- 84 還元消毒の施設土壌病害虫に対する防除効果と下層土消毒法（H15年）
- 85 温湯種子消毒による水稲の種子伝染病害対策（H15年）
- 95 スターチス(シヌアータ)の灰色かび病被害軽減のための栽培法の改善（H15年）
- 110 いちごのシクラメンホコリダニに対する温湯灌注防除法（当面の対策）（H16年）
- 120 メロンえそ斑点病の発生実態と防除対策（H17年）
- 121 キャベツ害虫に対する交信攪乱剤の効果（H17年）
- 122 りんご害虫に対する交信攪乱剤の効果（H17年）
- 133 トマト青枯病およびかいよう病の診断法と防除対策（H18年）
- 154 催芽時食酢処理による水稲の褐条病防除対策（H19年）
- 159 いちご疫病の総合防除対策および疫病抵抗性簡易検定法（H19年）
- 174 トマトの病害虫に対する生物農薬を活用した減化学農薬防除技術（H20年）
- 175 ピーマンの主要病害虫に対する生物農薬の適用性（H20年）
- 198 土壌深耕還元消毒の春秋期処理による適用時期拡大（H21年）

- 215 化学農薬によらない水稻の種子消毒法 (H22年)
- 216 ばれいしょの各種病原菌の切断刀伝染に対するマレイン酸の防除効果 (H22年)
- 226 にんじん栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化 (H23年)
- 229 トマトの化学合成農薬・化学肥料5割削減栽培の実証 (H23年)
- 230 さやえんどうのうどんこ病に対する減化学農薬防除技術 (H23年)
- 235 さやえんどうのナモグリバエに対する発生対応による防除技術 (H24年)
- 236 秋まき小麦栽培における化学肥料・化学合成農薬削減技術の高度化 (H24年)
- 239 きゅうり褐斑病の耐性菌発生に対応した防除対策 (H24年)
- 279 ブロccoli栽培における化学合成農薬・化学肥料削減技術の高度化 (H29年)
- 280 施設栽培ほうれんそうにおける化学合成農薬・化学肥料5割削減栽培技術と作型別評価 (H29年)
- 290 蒸気式催芽における食酢によるイネ褐条病および苗立枯細菌病の防除法 (H31年)
- 292 トマト土壌病害に対する糖含有珪藻土および糖蜜吸着資材を用いた土壌還元消毒法 (H31年)
- 293 紫外光(UV-B)照射を利用したいちご病害虫の減農薬防除技術 (H31年)
- 297 いちごの高設栽培における低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒による萎黄病の防除対策 (R2年)
- 298 転炉スラグを用いた土壌pH調整によるハウレンソウ萎凋病被害軽減対策 (R2年)
- 300 スイートコーンにおける黄色LEDを利用した鱗翅目害虫防除技術 (R3年)
  - ・ トンネル利用乾熱処理によるシクラメンホコリダニ防除 (S62年)
  - ・ ハウレンソウ根腐病の発生実態と太陽熱土壌消毒及び施肥管理による軽減対策 (S63年)
  - ・ ハウレンソウ土壌病害の発生生態と軽減対策 (H元年)
  - ・ 菜豆のアファノミセス根腐病の軽減法 (H3年)
  - ・ イチゴ萎黄病、萎凋病の防除対策 (H6年)
  - ・ 小麦のうどん粉病に対する炭酸水素カリウム水溶剤の効果 (H10年)
  - ・ サツマイモネコブセンチュウのトマト抵抗性品種打破系統の出現と新対抗植物の探索 (H10年)
  - ・ ネギの根腐萎凋病菌に対する還元殺菌法 (H11年)
  - ・ 蒸気土壌消毒処理によるハウス栽培スイカ半身萎凋病の軽減効果 (H13年)

農薬の使用量を減らすための技術

生態系を活用した技術

生物的防除

- 65 水稻害虫の天敵類の発生生態と天敵類に及ぼす農薬の影響 (H11年)
- 96 メロンつる割病レース1,2y 抵抗性台木品種「どうだい2号」の導入指針 (H15年)
- 108 ハウス栽培きゅうりの主要害虫に対する天敵農薬の利用法 (H16年)
- 111 ジャガイモシストセンチュウ対策のための抵抗性品種の利用指針 (H16年)
- 119 メロンえそ斑点病およびつる割れ病(レース1,2y菌) 抵抗性台木「空知台交4号」 (H17年)
- 132 ばれいしょ新品種候補「北育8号」 (H18年)
- 139 ハウス栽培きゅうりの生物農薬利用マニュアル (H18年)
- 158 四季なり性いちごの高設・夏秋どり栽培における生物農薬の利用法 (H19年)
- 163 メロンえそ斑点病及びつる割病(レース1,2y) 抵抗性台木新品種候補「空知台交6号」 (H20年)
- 196 施設栽培メロンにおける生物農薬を利用した減農薬栽培技術 (H21年)
- 205 だいず新品種候補「十育247号」 (H22年)
- 206 いんげんまめ新品種候補「十育B78号」 (H22年)
- 207 いんげんまめ新品種候補「十育B78号」 (H22年)
- 208 てんさい新品種候補「HT30」 (H22年)
  - ・ 薬剤抵抗性チリカブリダニを利用したハダニの生物的防除 (H3年)
  - ・ チリカブリダニの簡易増殖法・ハダニ生物的防除のシミュレーションの開発 (H3年)
  - ・ 弱毒ウイルスを利用したテンサイそう根病の生物防除 (H5年)
  - ・ アブラムシに病原性を示す天敵微生物(細菌)の探索 (H5年)
  - ・ チリカブリダニを導入した施設キュウリにおけるワタアブラムシの防除法 (H10年)
  - ・ 卵寄生蜂の増殖技術の確立とヨトウガの被害低減効果 (H10年)

農薬の使用量を減らすための技術

生態系を活用した技術

耕種的防除



- 39 施設キュウリのうどん粉病・べと病に対する減農薬防除技術（H8年）
- 79 畑作地帯における線虫被害の実態と対抗植物の利用技術（H14年）
- 82 だいごんの軟腐病防除対策（H14年）
- 86 ミカンキイロアザミウマの総合防除（H15年）
- 88 対抗植物を組み入れた根菜類のキタネグサレセンチュウ被害軽減対策（H15年）
- 90 緑肥作物の特性と畑輪作への導入指針（H15年）
- 97 もみがらを利用したいちご良質苗の採苗技術（H15年）
- 104 イネいもち病の早期多発を防ぐための伝染源対策（H16年）
- 134 食用ゆりの黒腐菌核病の発生実態とその対策（H18年）
- 157 成型ポット苗移植栽培におけるタマネギ乾腐病の多発要因と土壌・肥培管理による防除対策（H19年）
- 175 ながいものえそモザイク病の発生実態と採取ほにおける防除対策（H20年）
- 193 ダイズシストセンチュウ防除技術としてのアカクローバ間作および輪作の再評価（H21年）
- 204 渡島中部地域における高うね栽培によるニンジン乾腐病被害軽減効果の実証（H21年）
- 234 高接ぎ木法によるトマト青枯病の耕種的防除対策の強化（H24年）
- 256 穂いもち圃場抵抗性ランクに対応した水稻の穂いもち防除基準（H26年）
- 262 ナス科対抗植物の短期間栽培によるジャガイモシストセンチュウ密度低減（H27年）
- 275 施設栽培ほうれんそうにおけるハウレンソウケナゴナダニの生態を利用した被害軽減対策（H28年）
- 283 ねぎの簡易軟白栽培における黒腐菌核病の防除対策（H29年）
- 306 薬剤耐性菌の発生に対応したリンゴ黒星病の防除対策（R5年）
  - ・ アズキ茎疫病の防除法（S59年）
  - ・ コムギスッポヌケ病の耕種的防除（H5年）
  - ・ アズキ萎ちょう病の防除法（H5年）
  - ・ たまねぎ秋まき栽培の総合技術（H10年）
  - ・ ハウス野菜（トマト）の灰色カビ病菌の薬剤感受性の低下に伴う対応（H13年）



- 22 キャベツ・はくさいの食葉性害虫に対するエア・アシストスプレーヤの効果（H7年）
- 73 畑作物の減農薬に対応した農薬減量散布技術の実用化（H13年）
- 161 ばれいしょ栽培における茎葉処理機の効果的利用法（H19年）
- 162 道南地域における水稻「ふっくりんこ」の高品質・減農薬米生産技術（H19年）
  - ・ バンドスプレーカルチの性能（S58年）
  - ・ 減除草剤への1つの選択畦間スプレーヤの利用（S61年）



- 1 雑草防除の実態解析（H6年）
- 12 畑作物の減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 18 水田における雑草害の実態と物理的除草適期（H7年）
- 28 株間除草機の機械別特性（H8年）
- 30 スイコーン、たまねぎの減除草剤雑草管理技術（H8年）
- 112 クリーン米生産のための減・無除草栽培技術（H16年）



- 43 近赤外分光分析法によるトマトの内部品質（糖度、酸度）の測定法（H8年）
- 77 食用ばれいしょの品質指標値の設定と品質事例調査（H13年）
- 129 高粉質かぼちゃの省力栽培法と非破壊手法による品質評価（H17年）
- 160 デオキシニパレノール(DON)に対応した小麦の調整法と貯蔵中におけるDON消長（H19年）
- 177 メロンテクスチャーの食味に対する影響と評価法（H20年）
- 202 光センサーによるメロン品質（糖度・果肉・硬さ・内部障害）の測定技術（H21年）
- 203 北海道米品種の食味現況と高品位米選抜強化のための新しい食味検定法（H21年）
- 220 小豆ポリフェノールの生理調節機能の解明とその変動要因（H22年）
- 221 ながいもの貯蔵歩留まり向上のための携帯型光センサーによる乾物率測定技術（H22年）
- 222 光センサーによるだいこん内部障害（パーティシリウム黒点病）の非破壊計測・選別技術（H22年）
- 276 春夏まきレタスの品種特性および窒素施肥技術と食感評価法の開発（H29年）
  - ・ 消費者ニーズを考慮したほうれんそう及びトマトの内部品質指標（H元年）
  - ・ 水稲成熟期の止め葉葉色値による米粒タンパク質含有量の簡易判定法（H4年）
  - ・ 有機栽培等農産物の品質事例と問題点－馬鈴しょ（H9年）
  - ・ 米のアレルゲン性評価手法の開発と変動実態（H10年）
  - ・ 除草剤DBNに起因するかぼちゃ異常果発生とその判定法（H11年）
  - ・ 販売戦略強化に向けた道産野菜の機能成分の評価（H10年）
  - ・ 内部品質からみた高水分春まき小麦の収穫・乾燥条件（H13年）

品質評価・向上技術

品質評価

簡易分析法の開発

- 59 夏どりキャベツの内部成分の変動要因と指標値の策定（H11年）
- 184 育苗時使用農薬による後作物への残留リスク評価とELISAキットの野菜への適用性（H21年）

品質評価・向上技術

品質向上

栽培技術の開発

- 10 春夏まきレタスの内部品質向上のための栽培管理対策（H6年）
- 15 有機栽培等農産物の品質事例と問題点（H6年）
- 27 ばれいしょの少肥・減農薬栽培向け適品種（H8年）
- 32 堆肥施用がハウレンソウの内部品質に及ぼす影響（H8年）
- 34 キャベツの品質向上のための窒素栄養診断と施肥法（H8年）
- 45 有機馬鈴しょの品質事例と問題点（H9年）
- 46 ほうれんそうのシュウ酸含量低減化技術（H9年）
- 60 ビタミンC向上を目指した早出しキャベツの栽培法（H11年）
- 125 ほうれんそう・こまつなのタどりによる硝酸塩低減（H17年）
- 128 養液土耕栽培と汁液硝酸イオン濃度のモニタリングによるほうれんそうの硝酸低減化（H17年）
- 143 道産野菜の硝酸塩含量の実態と変動要因（H18年）
- 146 たまねぎ極早生品種の品質評価と栽培技術指針（H19年）
- 179 雪中貯蔵キャベツの結球内部黒変症状対策と雪中貯蔵中の品質変化（H21年）
- 180 品質分析データを活用した秋まき小麦子実タンパク含有率の変動解析と分布マップ（H21年）
- 185 酒造好適米「吟風」「彗星」の栽培特性と品質改善対策（H21年）
- 189 下層土窒素診断による道産ほうれんそうの硝酸塩低減栽培法（H21年）
- 214 メロンの生理障害（水やけ症状、マンガン過剰症、発酵果）の対策技術（H22年）
- 238 酒造好適米「吟風」「彗星」の栽培特性と品質改善対策（補遺）（H24年）
  - ・ てん菜の短期輪作栽培における収量、糖分の変動解析試験（S60年）
  - ・ てん菜の糖分向上のためのたい肥施用量と窒素施肥（S62年）
  - ・ 高畝全面マルチ栽培技術（H元年）
  - ・ 加工用馬鈴しょの肥培管理改善による品質向上（H元年）

- ・ 適正客土による泥炭地産米の食味向上効果（H3年）
- ・ ホウレンソウの内部品質向上のための栽培管理対策（H3年）
- ・ 空知管内における低蛋白米生産のための稲体及び土壌の窒素指標（H9年）
- ・ りんご「ハックナイン」の良質果実（外観品質）生産のための葉診断と暫定的窒素施肥管理（H10年）
- ・ 牧草ミネラル組成改善のためのカリ低減型施肥法（H10年）
- ・ 北海道産米の食味・白度の変動要因解析と高位安定化技術（H13年）

品質評価・向上技術

流通技術

高品質貯蔵・保鮮技術の開発

- ・ 夕方収穫によるほうれんそう流通中の品質低下防止対策（H12年）
- ・ 「ハックナイン」内部褐変発生要因と対策（H13年）

環境負荷抑制技術

農耕地の養分フロー把握と負荷軽減技術の開発

- 21 畑暗渠からの硝酸態窒素の流出－各種窒素肥料を施用したたまねぎ畑における調査事例（H7年）
- 25 水田における窒素フローの把握（H8年）
- 47 環境保全に必要な水田からの粘土流出軽減対策（H9年）
- 54 農耕地における硝酸態窒素の残存許容量と流れ易さの区分（H10年）
- 66 露地野菜地帯の硝酸態窒素負荷実態と流出削減プログラム（H12年）
- 68 水田地帯における河川への硝酸態窒素負荷の実態と軽減対策（H12年）
- 93 地下水の硝酸汚染を防止するための窒素管理法（H15年）
- 94 畑地における地下水の硝酸汚染防止のための投入窒素限界量（H15年）
- 113 除草剤DBN（2,6-ジクロロベンゾニトリル）の土壌残留と作物生育への影響（H16年）
- 114 休耕田等を活用した湿地ビオトープの生物生息空間および水質浄化機能の評価（H16年）
- 115 河川水の窒素汚染軽減に向けた農地の窒素収支改善策（H16年）
- 123 普通畑およびたまねぎ畑における地下水中硝酸性窒素の削減対策（H17年）
- 124 農耕地土壌の化学性からみた作物のカドミウム汚染リスク評価（H17年）
- 140 肥培管理情報を利用した地下水の硝酸性窒素汚染リスク評価ソフト「NiPRAS」（H18年）
- 149 鉄付着防止暗渠土管の閉塞軽減効果（H19年）
- 166 北海道の農耕地及び未耕地における重金属類の賦存量（H20年）
- 167 北海道における有機性廃棄物におけるカドミウム負荷の実態と土壌・作物へのリスク軽減策（H20年）
- 169 緩衝帯による草地からの養分流出削減策（H20年）
- 181 搾乳牛舎パーラー排水処理のための伏流式人工湿地（ヨシ濾床）システム（H21年）
- 182 北海道農耕地における硝酸性窒素による地下水の汚染リスクと軽減対策（H21年）
- 183 北海道における水稲カドミウム濃度の変動要因と低減対策（H21年）
- 188 石灰系水産副産物由来肥料の特性および施用法（H21年）
  - ・ 酪農排水が周辺水系の水質に及ぼす影響（S63年）
  - ・ 酪農経営における窒素フロー根釧農試における事例（H10年）
  - ・ 水田に施用された農薬の環境動態と流出軽減対策（H13年）

環境負荷抑制技術

農耕地におけるガス発生抑制技術の開発

- 20 道内の農耕地から発生する温室効果ガス（H7年）
- 67 施設花き栽培における硝酸態窒素の流出と環境負荷の軽減対策（H12年）
- 69 環境保全からみた普通畑における亜酸化窒素発生量の軽減対策（H12年）
- 70 施設栽培における亜酸化窒素の抑制対策（H12年）

- 71 水田におけるメタン発生抑制のための圃場管理技術（H12年）
- 150 石狩川泥炭地の土地利用と温室効果ガス—湿原、水田、転換畑の比較—（H19年）
- 168 北海道東部の採草地における温室効果ガスの発生量評価と低減の可能性（H20年）
- 304 クリーン農業による畑地からの温室効果ガスの排出抑制効果（R4年）
  - ・ 牛ふん尿の発酵促進とアンモニア揮散抑制（H10年）

家畜ふん尿の低コスト処理・利用技術

低コストふん尿処理・利用技術の開発

- 51 乳牛の糞尿量及び糞尿窒素量の低減に関する試験（H9年）
- 52 敷料用資材の探索と節減法（H9年）
- 98 高水分固形状ふん尿の処理に適した排汁促進型堆肥舎（H15年）
- 130 乳牛ふん尿を主原料とするバイオガスプラント消化液の特性と草地・畑地への施用法（H17年）
- 131 環境に配慮した酪農のためのふん尿利用計画支援ソフト「AMaFe」（H18年）
- 151 スラリー連用条件下の火山灰草地における窒素収支（H19年）
- 165 硬質土草地における更新時からの家畜ふん尿主体施肥管理法の実証（H20年）
- 218 分別処理法方式によるミルクパラー排水の低コスト浄化施設（H22年）
- 268 チモシー基幹採草地への長期連用条件におけるふん尿処理物の肥料効果（H27年）
  - ・ 根釧地方の混播採草地における液状きゅう肥の効率的施用法（S60年）
  - ・ 環境保全（水質）からみた牛ふん尿の施用限界量の設定（H元年）
  - ・ 豚ふんたい肥のリサイクルによる悪臭成分の抑制及び敷料節減（H10年）
  - ・ 寒冷地における発酵床（バイオベッド）方式による豚の管理システムの確立（H10年）
  - ・ 肉用牛における発酵床畜舎の維持管理法（H10年）
  - ・ 個別型バイオガスプラントによる乳牛ふん尿処理・利用システムの提示（H13年）

総合経済評価

クリーン農業の経営経済的評価

- 13 露地野菜における減農薬・減化学肥料栽培の実態解析（H6年）
- 40 たまねぎと水稲を対象としたクリーン農業の経済的評価（H8年）
- 64 野菜産地における対抗植物導入の経営経済的評価（H11年）
- 83 集团的取組による水稲クリーン農業の展開とその経営評価（H14年）
- 116 たまねぎYES!clean産地の育成・定着手法（H16年）
- 126 だいこん生産におけるキタネグサレセンチュウ対策としてのえん麦野生種利用の経済性（H17年）
- 176 生産履歴、生産資材情報を電子化管理するシステム（H20年）
- 219 クリーン農業の高度化と経済性の解明（H22年）
- 232 クリーン農業の高度化と経済性の解明（補遺）（H23年）
- 233 天敵生物発生量増加によるクリーン農業環境保全効果の確認（H24年）
- 244 クリーン農業技術による温暖化ガス排出量変化の推計手順と推計結果（H25年）
- 270 YES!clean農産物の流通実態と販売面におけるクリーン農産物表示制度の活用方策（H27年）
- 282 ブロッコリーの先進産地にみた高度クリーン農産物の経済性（H29年）
- 294 生産・流通・消費から見たクリーン農業の総合評価（H31年）
- 305 消費者にYES!clean表示制度の魅力が伝わる説明文のコンセプト（R4年）

注1：・印はクリーン農業技術開発研究以外の成果である。

2：番号は「クリーン農業技術の概要」と一致する。

3：成果の概要は「クリーン農業技術の概要」を参照のこと。

